

幼児教育分野における派遣隊員支援と幼児教育協力の質的向上

お茶の水女子大学

浜野 隆

1. 事業の目的・方法

本事業は、幼児教育分野の青年海外協力隊の支援を通じた幼児教育協力の質的向上を目的とするものである。その目的達成のため、以下のような方法で隊員活動の支援を行う：(1) 幼児教育分野は募集重点職種であるため、まずは国内の幼児教育諸機関と連携し、幼児教育分野の青年海外協力隊事業の広報・調査活動を行う。(2) 派遣候補生や隊員が現地情報や国際援助動向について情報を得られるよう支援する。(3) 候補生や派遣中隊員からは質問を受け付け、それに応えるとともに内容をデータベース化し、「幼児教育協力 Q&A」を作成する。また、「幼児教育ハンドブック」を多言語化し、より隊多くの隊員が活用しやすいものにする。

2. 今年度の活動・成果

(1) 広報・調査活動

昨年度に続き、公立幼稚園・私立幼稚園調査に対する広報活動は継続している。また、私立幼稚園関係者に対する理解を深めるために、雑誌「私幼時報」に青年海外協力隊の活動を紹介した。青年海外協力隊の広報紙 [JOCV news] に本事業の紹介を掲載し、その内容を国内幼児教育関係者にも送付した。アンケート調査等を通じ、保育者養成機関、保育所への広報を開始した。

(2) 幼児教育協力の国際動向に関する情報集約・提供

幼児教育ネットワークの帰国隊員や派遣中の隊員らとの意見交換から、国際動向パンフレット作成にあたっては以下の点の重要性が明らかになった：①国際社会の開発課題と ECD 支援との接点を明らかにすること、②教育分野に焦点を絞り込まないこと、③途上国の乳幼児を取り巻く状況をマクロな視点から理解する重要性に言及し、そのための基本的知識や情報源を提供すること。また、「EFA グローバルモニタリングレポート 2007 年版」フルレポートの翻訳について、ユネスコと協議の上、翻訳に関する許諾を得、現在翻訳が進行中である。

(3) 派遣候補生および派遣中隊員への助言

「幼児教育ハンドブック」は、各訓練所からのリクエストに応じて送付し、候補生たちに配布されている。現在は「幼児教育ハンドブック[2]幼児教育協力 Q&A」の作成が進行中である。前年度に引き続き、現在派遣されている隊員から質問を集約し、回答できるものについては回答を送付した。また、隊員の広域研修への助言、本学が実施している地域別研修(中西部アフリカ幼児教育)への候補生の参加を通じて、派遣前情報の入手、派遣先スタッフとのネットワーク作りを支援している。また、「幼児教育ハンドブック」の多言語化を進め、翻訳済み部分については即時、隊員メーリングリストに送信している。

3. 最終成果物に向けた進捗状況

「幼児教育ハンドブック[2]幼児教育協力 Q&A」は、今後、海外調査(スリランカ、モルディブを予定)を通じ、より深い内容のものにしていく予定である。今年度中には質問の収集を完了させ、回答については専門家の意見も交え作成していく。「EFA グローバルモニタリングレポート 2007 年版」は、2008 年 1 月にドラフトが完成する予定である。国際動向パンフレットは 2007 年末にドラフト完成予定である。